



# 『雪どけ便り』 寸評

- ・ 明るい曲調、細かい音符のうごき (m.5-8) リコーダーにピッタリ
- ・ 平明な和声でありつつコロコロ曲調がうつりかわってゆく
- ・ タイトルから作品の物語が容易におもいうかぶ

## 完成度をさらに上げるために

- ・ リコーダーはダイナミック変化がほとんどつけられない楽器
- ・ m.1 b.1-3 メロディが課題とちがう
- ・ m.5 *a tempo* をおいてもよい
- ・ テンポ表示 単位拍を八分音符にして ♪=144
- ・ m.12 b.3 アルトリコーダーもシ<sup>#</sup>で (b.5 はシ<sup>b</sup>でむろんよい)
- ・ m.13 b.3 ソプラノリコーダー m.14 と同一の音型でファのはずでは
- ・ m.3, 11, 12 b.1-3 ソプラノリコーダー  とすると読譜が容易
- ・ m.2 b.4 アルトリコーダー ここも八分音符ふたつで二度打ちしたら
- ・ 全体に複数の音符をふくむスラーが多く、じっさいはかるくタンギングしないと演奏できないとおもう
- ・ m.13, 14 b.4-6  とまとめよう

m.=measure 小節番号のことです。  
b.=beat 拍のことです。

ゆたかな感性がうかがえます。

持魔 勉